

病理医を昇華させた "New Pathology"の旗手





長村義之

国際医療福祉大学 教授

国際医療福祉大学 病理診断センター センター長



ないんです わないが、病理医はもう、そういう立場じゃ 「*Doctor's doctor* と呼んでいただくのは構

術の進歩と発展とともに、 として、直接患者と接することなく仕事をし た病理医。しかし、ここ十年ほどで、 てきた。文字通り、「医師の医師」でしかなかっ 長い間、 病理医は、 いわば縁の下の力持ち 病理医の役割が増

務めていた長村義之氏、その人なのである。 力した人物こそ、当時日本病理学会理事長を 理医の立場を昇華させる、一連の出来事に尽 存分直接患者へ発揮できる時がきた。この病 外科医のように、臨床医としてその力を思う るだけでなく、ここ数年、病理診断科を看板 点数も認められ、 と直接対応する」ことを意味する。 榜科目になったということは、 2007年に起きた。 に開業するケースも出てきている。内科医や 診断科」が標榜科目として認められたのだ。 そのエポックメーキングな出 院内で病理診断科を標榜す 医療法改正で、 すなわち「患者 独自の保険 平事 が

行為となったのだ。 体検査から、医師による診断、 たに「病理診断」の項目が新設され、単なる検 の項目にあった「病理学的検査」ではなく、新 の収載も大幅に変わった。それまで、「検査 病理診断科が標榜できるようになり、保険 すなわち医療

設され、細胞診も医療行為として認められる 尽力。2010年には、 の理事長として、 また、2009年から日本臨床細胞学会 長村氏は細胞診の点数化に 「細胞診断料」が新

> えたことなのだ。 など、すべて長村氏のリーダーシップが成し に国際細胞学会(IAC)を横浜に誘致した、 目の分科会として認めさせた、2016年 加算できるようになった「病理診断管理加 ようになる。 このほか、 日本臨床細胞学会を日本医学会の99番 常勤病理医がいる施設に対して 画期的なことだ。

きるようになった。 聞く「ファーストオピニオン」も、 般患者が主治医と連携のもと、診断の内容を の考えだね。むしろ、見える病理医、なんです」 してこそ、医療に貢献できるというのが、僕 だしいわけです。己の持ち分を最大限に発揮 診断が違うぞ』って言うのは、 オピニオン」も直接病理医に求めることがで して他の医療機関の病理医に聞く「セカンド 「病理外来」を開設しているところでは、一 「僕ら病理医が出ていって、 臨床医に『これ 時代錯誤も甚 検体を持参

上に重要な役割の一つとなっている。 類を瞬時に判断する「迅速診断」も、今まで以 を採取し、その検体からがん細胞の有無・種 もちろん、腫瘍および切除断端などの組織

理の姿を見据える。 福祉大学三田病院の教授室で、次の時代の病 村氏は、いま、新築されたばかりの国際医療 病理医という定義を全く変えてしまった長

医者になることが僕の運命」 血液学は継ぎたくなかった

長村氏は熊本生まれ。小学校に上がる前

熊本市水前寺にて(3歳頃)

祖父(小宮悦造)、 祖母(重)と

-緒に (医学部入学の頃)

に、 父親の転勤で上京した。

出るのがいやだったなぁ」 「熊本弁しかしゃべれなかったんで、 人前に

なっていく。 なると、自信がメキメキ付き始め、 小学校高学年になってクラスで一番の成績に 言葉のせいでおとなしかった長村氏だが、 積極的に

代目の教授となった。長村氏は、 祖父を継いで同東京医科大学内科学教室の2 のサラブレッドである。 そして父、長村重之氏も同じ血液学の医師で、 家。小宮氏はその後、東京医科大学の内科学 小宮氏といえば、日本で最初の血液学アトラ なった熊本医科大学の学長、小宮悦造氏だ。 教室の初代教授に就任し、同大学長にもなる。 ス『臨牀血液図説』を作った日本血液学の大 長村氏の祖父は、熊本大学医学部の前身と いわば医師

なと言ったら、 『医者になることは僕の運命なんだ』と観念し てきました。 まえは医者だ。医者だ』とずっと言われ続け 「僕は一人っ子だったんです。祖父から『お あるとき、違うことをやりたい 今度は父親から猛反対され、

PROFILE

·····・おさから・よしゆき

45 C. f	39 20%
1970年	慶應義塾大学医学部卒業
	アメリカ コロラド大学病院病理レジデント
1973年	同 リサーチフェロー
1974年	アメリカ ヘンリーフォード病院 外科病理クリニカルフェロー
1975年	東海大学医学部病理学教室 助手として帰国
1988 -2010年	東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 教授
1996 -2005年	東海大学医学部副学部長
2002 -2006年	東海大学医学部医学科基盤診療学系 学系長
2006 -2007年	東海大学医学部附属病院 副院長
2009年-現在	アメリカ 南カリフォルニア大学医学部臨床教授
2010年-現在	東海大学 名誉教授
	国際医療福祉大学 教授
	国際医療福祉大学病理診断センター センター長
2006 -2010年	日本病理学会理事長
2009 -2011年	日本臨床細胞学会理事長

◆受賞

日本病理学会 日本病理学賞 Japan Pathology Award 日本臨床細胞学会 学会賞 日本内分泌学会 最優秀指導者賞 Distinguished Endocrinologist Award 日本組織細胞化学会学会賞(高松賞) 日本下垂体研究会吉村賞

◆主催した学術集会

第94回日本病理学会総会(2005年、横浜) 第47回日本臨床細胞学会総会(2006年、横浜) 第6回日米合同組織細胞化学会議(2002年、シアトル) それぞれ学会のテーマを決めて情報発信した

◆アメリカでの経験を基盤にした国際活動 国際組織化学会連合(IFSHC) President (理事長)

国際病理アカデミー (IAP) Vice President (副会長) 国際細胞アカデミー (IAC) Vice President (副会長)

◆創始者となった学会

米国内分泌病理学会 Endocrine Pathology Society (EPS) 日本内分泌病理学会 Japan Endocrine Pathology Society (JEPS) Asia Pacific Society for Molecular and Immunohistology (APSMI)

夢を持ち続けること、夢の実現に邁進すること、人との触れ合いを大切にすること、 そして全身・全霊をかけて生き抜くこと。

で

1 「…篠田 (学一)長村(学二)

義塾大学医学部に入学する。 名門麻布中学、麻布高等学校と進み、 慶應

学部は団体で3位だったものの、

200メートル背泳で個人優勝を果たして

ささやかれた。…」。

このとき、

慶応大学医

長村氏は

での水泳団体優勝か』という声が観衆の間に

りの東日本医科学生総合体育大会「東医体」

れたほどです。このとき、 した。、水泳学部、に入っているのか、と言わ 部の6年間は、 父親の跡を継ぐのだろうと、 た両親に感謝しています_ いたんです(笑)。親への反発もあって、 れに反発して血液学だけはやめようと決めて 「医学部に行くと、祖父も父も有名なので、 のように言われました。若かったので、 仕事への持続力につながっていったん いまは、 そんなわがままを許してくれ ほとんど水泳ばかりやってま 水泳に没頭したこ 周囲から当たり 医学 そ

一気に一位に躍り出た慶応に対し、 67年9月の『慶應義塾医学部新聞 の優勝 10

> きているか分かる病理って、 て切り取った臓器にしても、 とても新鮮でした。顕微鏡で見ても、手術し 直接見て何が起 僕の性格に合っ

モールグループに参加していた。

勉強の方はといえば、

長村氏は病理

一のス

「テーマを決めたディスカッションの授業が

ているなと思ったんです」

長村氏はそれに魅せられてしまったのだ。 胞が織りなす模様を顕微鏡の世界で体験 シンで染まる細胞の青と赤の色。 織から標本を作って、 そして、 思いがけず゛アート゛に出合う。 ヘマトキシリン・エ この色と細 オ 組

意げに見せる。 「とてもきれいなんですよ」 パソコン画面上の細胞画像を得 まさに、 サイエンスとアー

との出合いだった。

トに出合った長村氏は、

書き留め、 でに米国留学を志し、 [の目標とし、 医師国家試験(ECF ていった。 筆記試験の答案もすべて英語で記 まずは、 授業のノー 具体的な留学準備を進 外国人向けのアメリカ M トはすべて英語で Gの合格を当

抦理学教育の体系化にびっくり アメリカは進んでいる

逑。 ていた。 口頭試問も、 日本語の質問に英語で答え

にとても感謝しています」 おらかに、評価してくださった当時の先生方 「本来なら許されないことと思いますが、〃お

学教室へ入局はするものの、 メリカへ旅立つ。 長村氏は卒業後、 慶應義塾大学医学部病理 2ヶ月後にはア

せられた病理にいよいよ深く入り込んでい 決めた時点で始まったのかもしれませんね」 「結局、 アメリカのコロラド大学に進み、 私の人生のすべてはこの米国留学を 自分が魅

ごす。

く。最初の3年は、病理レジデントとして過

ては、日本はまったく追いついていなかった 今から40年も前の話ですよ。臨床応用に関し 師のあり方自体がまったく違っていました。 カでは臨床医学の一つで、『病理医』という医 なく基礎医学に分類されていますが、アメリ 理は、ドイツから入ってきたため、臨床では 基本がとても早く身につくんです。日本の病 できていて、診断が体系づけられているので でましたね。ティーチングコースがきっちり ですね」 「アメリカの病理学は、当時既にずっと進ん

ため、教育の体系化も急務だったのだろう。 臨床医の中から病理医が分かれたのだ。その ら、外科医が片手間に病理診断できなくなり、 訴訟が起こりやすいアメリカ独自の事情か チェックするために進化した学問だ。その後、 自身が、手術して取り出した病変組織を後で アメリカの病理学は当初、 執刀した外科医

恩師を追って東海大に 最初の5年間は立ち上げに奔走

一ここコロラドでも、 コロラド大学では3年間のレジデント期間 Steven G. Silverberg教授 (外科病理部長) に 細胞診断について学ぶ。 染色された細胞の美し

さに魅了され、どんどん引き込まれていきま

村氏は30歳になっていた。 そして、1975年に帰国の途につく。 フォード病院でクリニカルフェローとなる。 フェローを経て、ミシガン州のヘンリー レジデントに引き続き、1年間のリサーチ 長

作ってみないか』と誘ってくれ、それで先生 リカの留学先を紹介してくれた渡辺慶一先牛 頑張るつもりでした。そんなとき、私にアメ バイスでしたね。とにかく帰国したらう年は、 れていました。今から振り返れば的確なアド の後を追って東海大学に移りました_ (故人)が、東海大学の教授に移られる際に、 『新しい医学部で病理教室を一緒に一から 「先輩から『人生は5年単位で考えろ』と言わ

球する覚悟でした。それまでの知見がベース 授とともに、 れからのう年間、しゃかりきになって渡辺教 さに一からのスタートとなった。長村氏はそ 1974年。翌年に附属病院が開院し、 「当時はほとんど、家にも帰らなかったです 東海大学に医学部が設置されたの 私には持論があって、35歳までは全力投 病理診断学を軌道に乗せる。 ま は

術を取り入れながら上昇していけると思って がありました」 が出た時など″もう死んでもいい〟と思う瞬間 になって、 いました。実験が上手くいき美しい染色結果 『進取の気性』というか、 新しい技

上げられる実例がある 35歳までに、 実に多くの目覚ましい成果を

年に33歳で愛人に拳銃で撃ち殺されちゃうん 感じましたね」 は、僕の誕生日だったので、運命的なものを れているのだと思う。モーガンが殺されたの から35歳の時期は、そんなエネルギーがあふ でにできちゃうんだなと思ったんです。30歳 でも衰えていない。やれる人は35歳ぐらいま だけど、何十枚も出したレコードの人気は今 がいます。14歳でバンドを作って1972 「リー・モーガンという天才トランペッター

トランペットの音色が響き渡る。 屋のスピーカーから、このリー・モーガンの 『The Sidewinder』 という。 は、ビルボードにもチャートインしたという 長村氏は、大のジャズ好き。取材中にも部 お気に入り

を続けていく。 氏は、その後の変化にも弛まず、次々と挑戦 35歳までに持論を遂行して踏ん張った長村

美しさをデ を広げる顕微鏡 ジタル化へ

東医体水泳 200m 背泳にて金メ ダル 最終ターン





医学部高学年に友人と



コロラド大学医学部メディカルセンターにて [レジデント前列右より2人目が長村氏、前列 左端が Paul Nakane 氏] (1970 年冬)



に色が付いて見えるようになったんです。第

教わりました。

一コロラドで、

ポール中根教授に直接方法を 今までは特殊な蛍光顕微鏡で

しか見られなかったものが、

明視野でも茶色

学脳神経外科の寺本明氏

(現在、

同大学名誉

東京労災病院院長)と共同研究により、

広い活躍が伺われる。

クネームで、Bob、と呼ばれており、

海外での

長村氏も、

外国では Robert Y. Osamura

疫組織化学の第一人者である日本人だ。 だったPaul K. Nakaneこと中根一穂氏で、 で最初に考案したのは、

コロラド大学教授

免

定していく方法に変わっていく。

その顕著な

酵素抗体法と呼ばれるものだ。

世界

異な物質だけを染色して、

染色の有無から同

1970年代に細胞の染色法が、

特

<mark>米国留学に</mark>出発の日 羽田空港に て父母と(1970年6月22日)



下垂体研究における永年の共同研究者[左よ り2人目が寺本明氏、右<mark>端が井上金治氏</mark>]



コロラド大学留学中 Bryce Canyon にて(1972年頃)



Roche HER2 Pathology Advisory Board (PAB) 2010 Basel にて 治療の 基盤となる病理診断のグローバル会議では世界の基準の作成に携わる

国際細胞アカデミー International Academy of Cytology (IAC) 2016 年に横浜にて国際 学会開催を誘致決定した会議にて役員ととも に [左は Dr.Matias Jimenez-Ayala、中央は Dr. Volker Schneider (2010)



した 人者から直に教わるなんて、非常に幸運で

質の存在とされている。 病理診断 の下垂体腫瘍治療の第一人者で、 の病理組織学的研究も始めていた。 を応用して、 発展に長村氏自身が寄与し、 いっていくことになる。 また、中根氏から伝授された免疫組織化学 脳腫瘍に分類されているが、 コロラド大学時代に下垂体腫瘍 この研究は、 日本医科大

この酵素抗体法が日本でも導入される際、 への応用や診断装置の機械化などの 分子病理につな

下垂体腫 他とは異 国内で

る研究は200編を超える。 させた。長村氏が執筆した英文論文はこれま 日本での下垂体腫瘍研究や臨床を大いに発展 4 8 4編。 そのうち、下垂体腫瘍に関す

えつつ己の考えを実行に移していった。 996年、東京大学医学部の黒川清教授 長村氏は5年を単位に人生を考

事故調査委員会の委員長にも任命されている。 構代表理事であり、 ミックフェロー、 出す。黒川氏といえば、元日本学術会議会 .東海大の医学部長に就任。長村氏は副学部 現在は、 黒川氏と一緒に大学教育改革に乗 政策研究大学院大学のアカデ NPO法人日本医療政策機 福島県の原子力発電所の

東海大で培った夢のつづきを

と一緒に仕事をさせていただいて、

私自身も

とても勉強になりましたね

日本のあり方を深く洞察されていた黒川先生 ばれるほどになりました。アメリカから見た 受け入れてもらい、『医学教育の東海大』と呼

5 長村氏は、 南カリフォルニア大学の医学部で臨床教 [際医療福祉大で実現する 東海大を定年退官する1年前か

教育計画部長として体系付けを進めた。 を進め、長村氏は米国での留学経験を活かし、 ラークシップ」だが、東海大がいち早く導る 現在は一般的になっている「クリニカル・ク などを実践で身につけさせようとするもの の判断力や思考力、 て診療に参加し、診療技術だけでなく現場で 医学部5・6年次に、 ラークシップ」というアメリカ型の臨床教育。 このとき手掛けたのが、 コミュニケーション能力 チーム医療の一員とし 「クリニカル・ク

ソロジー」「病理セカンドオピニオン」を確立 で進めていた「分子病理診断」「デジタル・パ が果たせそうにないと感じた長村氏。 の北島政樹氏に相談をもちかける。 大学医学部の先輩で、国際医療福祉大学学長 する目標を実現する場を探そうと、慶應義塾

うか判断できるのだ。

調べることで、この薬がその患者に効くかど

治療薬だが、がん細胞のHER2遺伝子を

関係する特定の分子を狙い撃ちする分子標的

受けてくださったんです_ です。北島学長は、『うちにこないか』と引き 「分子病理診断をどうしても続けたかったん

して、師として、常に大切にしてきた賜とい

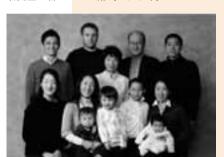
邁進してきたこと、人との出会いによって、 「夢を持ち続けて、



国際病理アカデミー(IAP) 日本支部 50 周年 記念式典にて 2011 アジア太平洋 IAP の役員と [左より2人目<mark>が Steven G. Silverberg 教授]</mark>



65 歳の誕生を<mark>記念して 東海大学医学部病理</mark> 研究室の皆さんと一緒(2010年)



3人の娘たちの家族と共に(2007年)

す。 た当時と同じスモールグループでの教育で 返しをしたいと始めました。 えてくれたアメリカの懐の深さに、 授として学生に病理学を教えている。 「40年ほど前、 学生の反応はよく、フィードバックも端 さすがアメリカだと思いました」 まだ未熟だった私に親身に教 私が慶應に入っ せめて恩

東海大での定年が間近になり、すべての夢 東海大

「大学の中だけなく、近隣の病院にも学生を

長村氏が出会ったすべての人たちを、 友と

その目標に向かって常に

田病院の病理診断センターには、

E G F R

K R A S

K I T

B R A F な

H E R 2

若手医師・学生向けにホームペ 長村氏は、 ジ "Dr.Osamura の病理学 NEW PATH" を 病理学の魅力、日頃の活動、読書経 験などのブログも書いている。 http://osamura-newpath.com/

今の自分があるのだと思います_

活躍の場として選んだ。 村氏は、慶應義塾ゆかりの場所、 "生涯現役病理医" として仕事を続けたい長 三田を次の

調べることで、診断だけでなく治療に役立て ズマブ」という抗がん剤は、 る新しい病理診療である。例えば「トラスツ まず「分子病理診断」。 がんなどの遺伝子を 乳がんの増殖に

か否かだけでなく、この患者に特定する抗が その遺伝子の変化と抗がん剤との効き具合が ツキシマブ」にはKRAS遺伝子のように、 チニブ」にはEGFR遺伝子、大腸がんの「セ ん剤がどのように有効なのかもわかるのだ。 対一の関係になっている。予後が悪いがん 今年2月に新築された国際医療福祉大学三 乳がんのほか、肺がんの抗がん剤「ゲフィ

的薬が効くかどうかの助言も積極的に行って 「病理医が診断だけでなく、一歩踏み込んで

ことで、情報共有が容易になった。手術中に コンピューターのディスプレイに大写しする 隔病理診断」の実用化も進めている。 もますます増えていくでしょう」 治療にまでコメントするケースは、これから また、デジタル・パソロジーを進展させ、「遠 顕微鏡で見た標本画像をデジタル化して、

TV会議も同時に実施、リアルタイムで診断

採取した病理標本をその場でデジタルデータ



どの遺伝子診断を行える機器を揃え、分子標 実証実験を行った。画像はとても良好で、 テーション研究センターと双方向で診断する ライ病院と中国の北京にある中国リハビリ 年は、ベトナムのホーチミン市にあるチョー ソロジーのプロジェクトに参加しており、昨 てきている。 その結果を執刀医に伝える技術も可能になっ にし、遠隔地にいる病理医に解析してもらい、 長村氏は現在も、経産省とのデジタル・パ

国内外を問わず、精度の高い病理診断が可能 を行ったという。今後は、設備さえ整えれば、 になることを意味する。

これも、国際医療福祉大学だからこそ、でき ることだと思っています」 かったので、さらに実用化を進めていきます。 「日本が今持っている技術で十分可能だと分

も始めた。特に、神経内分泌腫瘍NETのセ 来、三田病院では「病理セカンドオピニオン カンドオピニオンには積極的だ。 長村氏が病理診断センター長に就任して以

病理診断に委ねられている部分が大きく、ま ようにあります」 の一つです。病理医だからできることが山の た患者さんにわかりやすく説明しにくい疾患 「このがんは、診断名、予後、治療指針が、

研究の 喜びを知ってほしい

、医師に病理の素晴らしさ

理セカンドオピニオン。この三つを柱にして、 長村氏は今日も、顕微鏡を覗く。 分子病理診断、デジタル・パソロジー、

そして、病理に限らず、夢に向かって突き進 らしさ、研究の喜びを知ってほしいですね。 と思っています」 むことの重要性を伝えていくのが私の使命だ があります。多くの若い医師に、病理のすば 「外国には、"Passion Pathology" という言葉

(世事には固より監なし 人生須らく痕あるべし) 世事固無監 人生須有痕*

長村氏は、日本のため、世界のため、果たす べき夢の実現に向け今も邁進している。 母校の祖、福澤諭吉のこの言葉を心に留め、

> ※ [福澤諭吉全集第 20 巻、贈友人] この世の中のことは先例古格の通りに動くものではなく、何が起こるかわからない。 この世に生を受けた以上、思う存分働きを逞しくして、自分の生きた痕跡をこの世に残すべきである。